

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 巨大閉鎖空間近未来都市の火災安全設計
2. 研究代表者： 清家 美帆（広島大学 大学院先進理工系科学研究科 特定准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、将来の近未来都市巨大閉鎖空間火災時の安全設計に資する、巨大閉鎖空間災害時のフリーズを含めた避難意思決定モデルの再構築を目的として、現在ある閉鎖空間でのパニックとフリーズ時の挙動を解明する研究である。フェーズ1では、実験は1回であるものの、ジャーナルへの論文掲載は数編あり、当初計画通り進捗したと判断される。また、避難行動開始の意思決定や避難行動中の心理による行動変容などを考慮した実験の遂行・分析から多くの知見を得ていることは評価できる。

フェーズ2では、計画は挑戦性が高く、創発として適切であると評価できるが、フェーズ1で得た情報を様々な都市大規模閉鎖空間に対して、どのように対応させていくのか、また火災の安全設計にどのように結び付けていくのかの検討が必要である。具体的、客観的かつ定量的な成果が得られることを期待する。

以上